RENOVATION 13

中古住宅×リノベーションで叶えた
憧れのスローライフ

Builder：まつけんのリフォーム　Place：安曇野市　Family：夫婦

大型犬と一緒に、大自然に囲まれてのびのびと暮らしたい――。そんな想いを胸に、広い土地と住まいを求めて郊外へ移住したご夫妻。もとは民宿だったという大きな建物と出合い、リノベーションを選択しました。最初からすべてを完璧に仕上げず、DIYで手を加えていける“余白”をあえて残した住まい。頼れる施工パートナーとともに叶えた、自分たちらしい家づくりと、のんびり育んでいくスローライフをご紹介します。







“もと民宿”の建物を継承し
吹き抜けとオープン階段で光あふれるLDKへ

ご夫妻が移住を考えたきっかけは、「大型犬と一緒に、夫婦二人でゆったりとしたスローライフを楽しみたい」という想いからでした。

当初は新築も検討したものの、希望の広さの敷地と建物を、新築で確保するのは難しい。かといってコンパクトな規格住宅では理想の暮らしは叶わない。そんな葛藤のなか、中古住宅のリノベーションという選択にたどり着いたといいます。

数ある施工会社から、まつけんのリフォームを選んだ理由は、施工事例が最も好みに近かったから。さらに、大規模物件を理由に断る会社も多いなか、「優先順位を決めてやれば大丈夫」と現実的なプランを提案してくれたことが、同社を選ぶ決め手となりました。

購入したのは、かつて民宿として使われていた築49年の大きな家屋。改修における最大の課題は、建物中央にある階段の見せ方と、南北に長い空間への採光でした。建築上の制約で階段の位置変更が難しいため、階段沿いの壁を撤去してオープン階段に刷新。さらに建物中央の2階部分を取り払って吹き抜けにすることで、北側の奥まで安定した光が届く開放的なLDKを実現しました。

A | B | C | D

A_南北に長い、縦長のLDK。リビングの顔は、特別に発注した、調理もできる「イエルカ」の薪ストーブ。　B_勾配天井を見せ、高さを強調した吹き抜け部分。古い建物の梁や柱をあえて見せ、新築にはない古材の風合いを生かした。現しになった柱がほどよいアクセントとなり、広い空間を緩やかに仕切っている。　C_古材の色味に合わせて床材やキッチンをセレクト。キッチンには「ウッドワン」の無垢材を使った製品を採用した。美しい木目がナチュラルな空間によくなじむ。
D_リビングの窓際には作業用カウンターを造作。パソコン仕事や書き物などに重宝する。







E
F
G
H | I

E_本好きの奥様のために設えた、可動棚付きの大きな本棚。部屋の北側に位置するが、吹き抜けからしっかりと光が届く。フローリングはアンティークとも相性がいい素朴な風合いのオーク材。F_2階中央部分を吹き抜けにし、東西に窓を配置することで、暗くなりがちな北側の空間まで安定した光が行き届く。リビングの西側にはパントリーと作業用カウンターを設け、空間を有効活用した。　G_二人で作業をしても余裕のある、ゆったりとしたキッチン。　H_窓の外に山並みを望む、爽やかなベッドルーム。　I_薪ストーブの煙突が目を引く外観。敷地が広いので、畑やドッグランなど、これからの暮らしの夢が膨らむ。



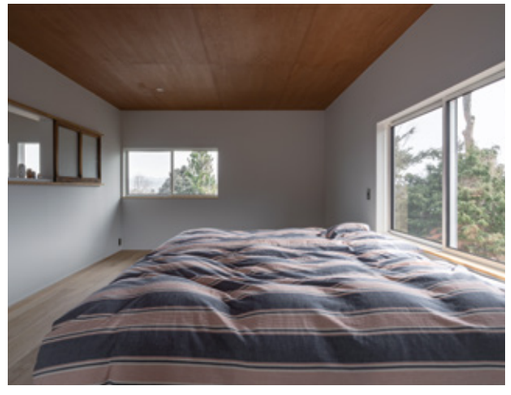
あえて“完成させない”という選択。
DIYで少しずつ理想に近づける楽しみ

不安のあった耐震面は、外周部に耐力壁をバランスよく追加して補強。上部構造評点（建物の耐震性能を示す指標）を、改修前の0.45から1.02に向上させ、安心・安全な住まいへと生まれ変わらせました。

自分たちらしい住まいを実現するために大切にしたのが、“手をかける場所”と“手をかけない場所”のメリハリ。「あれもこれも」と建物全体を一度に改修するのではなく、まずは生活の中心となるLDKと薪ストーブ周り、奥様の仕事場であるネイルサロンの整備を優先しました。

一方で、ご主人の趣味部屋である木工アトリエや2階のゲストルームは、仕上げや断熱をあえて抑え、DIYで手を加えていける“余白”を残しました。

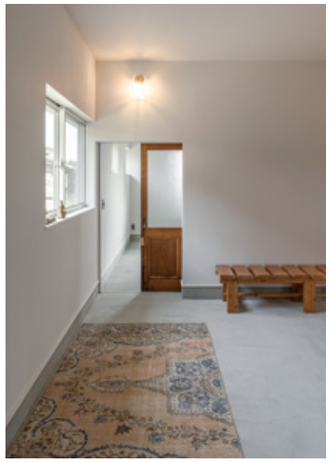
「最初から完成させるのではなく、自分たちの手で少しずつ理想の形に近づけていくのも、楽しみのひとつ」と語るご夫妻。広々とした住まいで、愛犬とともにゆったりとした時間を過ごし、手仕事や畑仕事を楽しむ——。思い描いていたスローライフは、いま始まったばかりです。

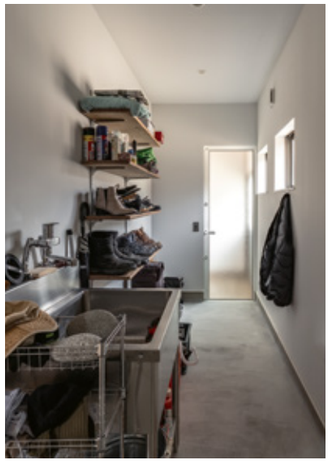












設計協力：コプレイスアーキテクツ

J
K
L｜M

J_玄関の先には、奥様のネイルサロン「kopfkino（コップフキーノ）」を併設。生活エリアとは分けた空間で、お客様を心地よく迎えられる。アンティークのテーブルや棚、照明は奥様がセレクトしたもの。　K_木工が趣味のご主人のアトリエ。床や壁は、これからDIYで少しずつ仕上げていく予定。アトリエの前にウッドデッキを設けることが目下の目標だ。　L_モルタルの土間にアンティークのベルシャ絨毯とベンチを組み合わせた、サロン前の洗練された空間。　M_愛犬の足を洗える大きなシンクを備えた、玄関横のシューズイン・クローク。

受賞物件のご紹介

CASE STUDY



千曲市

和の風情と時間を受け継ぐ 中古住宅リノベーション

「和のリノベーションに憧れていた」という夫妻と家族の住まい。新築にはない、時間が育む風情を生かし、ワンフロアで暮らせる住まいに。2階は将来の子ども室。使わない間は、リビングに光を届けるトップライトとして生かせるよう、2階の一室の床を強化アクリル敷きに。ワクワク楽しい、光の溢れる住まいです。

デザイン協力：トベアーキテクト一級建築士事務所

LIXIL MEMBERS CONTEST 2025
リフォーム部門
準グランプリ受賞

まつけんのリフォーム（松代建設工業 株式会社）　長野市青木島1-2-1　0120-018-416　https://matuken-reform.jp